

## 婦人会・門徒会 総会 ご報告、花まつり・宗祖降誕会ウィーク ご案内

あつという間に桜が終わり、美しい緑の季節が訪れています。鶯の囀りも随分上達した様子で、ふと気がつけばつい聞き耳をたて、一緒に口笛を吹いて楽しんでしまいます。

2021年3月をもって、令和2年度3月期が終了致しましたことをご報告申し上げます。お蔭様で、婦人会決算・会議（12月締）、門徒会決算・総会が終了致しました。婦人会については会員の方に詳細議事録を配布しておりますが、今後の課題や新しい取組みについて目線合わせが行われ、新年度が楽しみに思われる時間となりました。門徒総会の詳細は裏面にレポートがございますので、ご確認くださいませ。

さて、4月以降最初の行事についてご案内をさせていただきます。例年であれば、5月上旬に花まつり・宗祖降誕会法要を予定する時期ですが、昨今のコロナの状況を鑑み、本堂でのお勤めは住職のみで行います。ただし、5月15日（土）～22日（土）の間に本堂を開放し、各自のご都合に合わせて花御堂へのお花のお供えやお参りをいただけるよう準備致します。その際、本堂でご門徒のみなさまの手による絵手紙や短歌作品の展示を予定しております。普段制作を行われている方、「見せてもいいよ！」という方は、ぜひご参加をお願い致します。作品は、お寺にお持ちいただくか、月忌参りの際にお預けくださいませ。あわせて、点字作家の加藤英理さんによる点字楽譜作品「ブレイルフレンド (brailleFriend)」の展示や、南関町地域おこし協力隊であり国指定無形文化財「肥後琵琶」奏者である岩下小太郎さんによる「誕生」をテーマにした琵琶語りを企画しております（琵琶語りについて、本堂での鑑賞をご希望の方は、詳細を住職まで直接お問い合わせください。先着10名程度を予定しています。後日、YouTube等でもご覧いただけるよう対応の予定です）。緊急事態宣言が明けても、コロナ以前の暮らしが戻る気配はまだありません。しかしながら、出来ることを出来る時に出来るだけ楽しんで、丁寧に暮らして参りたく存じます。みなさまどうぞ、心も体もご自愛のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。 合掌



門徒会長 ご挨拶



明行寺の課題 洗い出し大会



婦人会役員会議後にパシャリ！



心躍るピンクのバラの仏華



元中通り組蠟燭講 総代会



お彼岸時期の先祖供養



前住職の一周忌 厳修

## 4～5月の予定（新型コロナウイルスの影響を鑑みて以下の通りと致します）

【中止】 4月11日（土）13時半～ 元中通り組蠟燭講 御消息披露法要 @西光寺

【対象者案内】 4月29日（木）・30日（金）13時半～ 元中通り組蠟燭講 宗祖降誕会法要 @傳敬寺

【実施】 5月4日（火）8時～ 除草作業 @明行寺（担当地域：下五位軒・重富）

【実施】 5月6日（木）13時半～ 婦人会役員懇親会 @明行寺 \*現役員・アドバイザー以外で参加をご希望の方はご連絡ください。

【実施】 5月15日（土）～22日（土） 花まつり・宗祖降誕会ウィーク @明行寺

【対象者案内】 5月15日（土）11時～ 役員・講中顔合わせ兼説明会 / 元中通り組蠟燭講 御消息披露法要 @明行寺

【中止・延期】 5月 下川東組 組会 / 婦人役員会（総会） @傳敬寺

## < 行事レポート 「令和2年度 門徒総会・役員退任者 感謝状授与式」 >

毎年3月末には門徒総会が開かれます。例年、講中・役員のみなさまが、主に門徒会計の決算報告の場としてお集まりくださるものですが、今年は婦人会のみなさまもご出席の上、婦人会会議で今後の取組事項として確定した「門徒専用台所」と「男女別トイレ（水洗化も検討）」の実現に向け、また女性役員の選出を見据え、お力添えをくださいました。役員改選の年となる令和3年度を迎えるにあたり、通算11年に渡って明行寺を支えてくださった門徒会長の田中晴美さんは、新体制に向けた的確なエールと共に、次期会長となられる松尾眞吾さんにバトンを手渡されました。その他、総会では令和2年度の活動報告と新年度の年間スケジュールの共有がございました（詳細は講中の方からの配布物を参照）。最後に、今期で退任となる門徒会役員3名・婦人会役員6名のみなさまへ、感謝状の授与式が行われ、温かい拍手と集合写真の撮影で会はお開きとなりました。後片付けまでお手伝いくださった婦人会アドバイザーのお2人、お忙しい中お時間を作っておはこびくださった婦人会・門徒会役員・講中のみなさま、いつもながら本当にお蔭様です。心より、御礼申し上げます。新たな年度も、何卒よろしくお願い申し上げます。



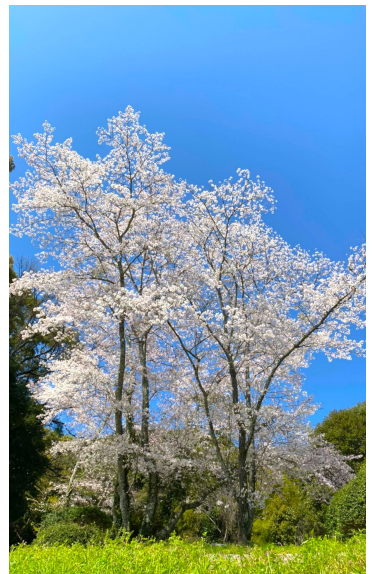
全員集合！



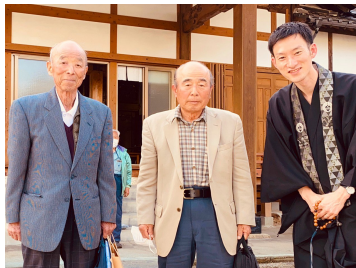
令和2年度3月期 門徒会役員



お集まりくださった講中の方



お寺の桜 目一杯お蔭様です



晴美会長から眞吾会長へ



退任の方への感謝状



散る桜も美しい春

### == コラム 「お経を読むのは、どのような意味があるのですか？」 ==

浄土真宗では、亡くなられた方の供養や慰霊のためにお経を読むことはありません。またお経を読むことによって、ご利益があったり、よいことが起こったりするとも考えません。阿弥陀如来の恩徳を讃え、感謝する思いから、お勤め（仏前でお経を読むこと、勤行）をします。

親鸞聖人は、阿弥陀如来が常に私たちを救おうとはたらきつづけていることに対して、いくら感謝しても感謝しきれないと表明されています。

この私たちを救ってくださる阿弥陀如来の教えは、浄土三部経（『仏説無量寿経』『仏説観無量寿経』『仏説阿弥陀経』）に説かれています。

お経は「如是我聞」（このように私は聞いた）という言葉から始まるように、この私が仏さまの教えを聞くために読むのです。これは単に僧侶の読経を聞くということではありません。苦しみや悩み多い私のために仏に成られ、今、現に私のために教えを説きつづけている阿弥陀如来のよび声を聞くということです。したがって、お経を読むことは、阿弥陀如来の教えを聞くことであり、その教えを通して自分をみつめることにほかなりません。

#### 前田壽雄師

昭和49年北海道生まれ。浄土真宗本願寺派専念寺衆徒。武蔵野大学仏教文化研究所研究員、通信教育部人間科学部人間科学科准教授。浄土真宗本願寺派東京仏教学院研究科講師。著書に『書いて味わう讃仏偈 重誓偈』『教行信証のことばーやさしい法話ー』（本願寺出版社）がある。明行寺若院が神奈川県上正寺に勤めていた際、勉強会等でお世話になった恩師。

明行寺 ホームページアドレス

[「https://www.myogyoji1620.com」](https://www.myogyoji1620.com)

QRコード



YouTube



Instagram